

寿楽荘でお菓子づくり実演 角館菓子工業組合

11月9日、角館菓子工業組合（組合長・佐々木正昭）の組合員8人が養護老人ホーム「寿楽荘」を慰問、毎年恒例となったお菓子づくりの実演と試食会を行いました。



今年は、サツマイモを使ったきんつばと白あんでゾウの形を作る創作菓子づくりを披露しました。途中、施設入所者4人がお菓子づくりに挑戦。きんつばの表面に水で溶いた小麦粉をぬり鉄板で焼いたり、練りあんでゾウの形を作り上げたりと楽しそうにお菓子づくりを体験していました。



できたてのお菓子はおいしい

出来上がったお菓子が入所者の皆さんに配られると、食べるのがもったいないと思うほどよくできたゾウさんやまだ温かい出来たてのきんつばを美味しくそうにはおぼっていました。

第15回かくのたて音楽祭

文化の日の11月3日、第15回かくのたて音楽祭が角館中学校体育館を会場に開催され、角館地区の小・中・高校・一般まで12団体570人が出演しました。

角館中学校のウィンドミルオーケストラの演奏でスタートした音楽祭は、角館中学校3年生による合唱や各小学校の合唱、合奏から角館ドリームハーモニーや角館南高校のマーチング、思い出の抒情歌の会、角館混声合唱団など学生から一般まで様々なジャンルの音楽で盛り上がりました。

最後は出演者、来場者全員による「秋田県民歌」「ふるさと」の大合唱で、会場いっぱいに歌声が響きわたりました。



元気いっぱいの歌声が響きわたる

仙北市健康市民のつどい

平成17年度仙北市健康市民のつどいが11月12日、仙北市健康管理センターを会場に開催されました。

午前中は、「子供の歯の健康教室」が行われ、過去1年間の3歳児健診で虫歯の無かった子が、今回歯科医の健診を受け表彰されました。おめでとうございます。



はい、口を大きくあけて！

▷表彰者の名前（敬称略）

青山加奈、青山滯、阿部満、加納有麻、鎌田音々、栗原花菜子、黒山藍伽、佐々木花純、佐藤英里子、鈴木美衣、千葉智華、戸嶋宏樹、能美江之介、藤谷桃華、松本理、阿部惣一郎、伊藤慈斗、門脇菜々子、鈴木智陽、鈴木尚樹、斯波彩奈、仙葉光、畠澤真千華、福岡桂夜、元村桜

これからも家族そろって、虫歯予防にがんばってください。

午後からは、神代中学校などでスクールカウンセラーを務める文教大学人間科学部臨床心理学科の秋山邦久氏による講演会が行われました。

「子どもの幸せな未来のために～今、親や大人にできること～」と題した講演で秋山氏は、引きこもりや不登校、暴力、非行などは、家庭や学校での母性と父性のバランスにある。これは単に母親や父親というのではなく、イメージとしての母性（優しさ、愛情など）、父性（責任、忍耐、社会性）であり、どちらかがたりない場合や、過剰な優しさ（甘やかし）により殻を破れない子どもが引きこもる場合が多く、「引きこもり」ではなく「引きこもらせ」になっている。個人ごとに状況が違うため、個々に応じた対応が必要であり、時代の変化に合わせた家族としての努力、コミュニケーションが必要と訴えています。



講師の秋山氏